

副専攻名 環境共生論[基礎]					
副専攻のCP(カリキュラム編成方針)					
環境共生の実現に貢献できる人材を「育成する基礎的なカリキュラムを準備している。人文社会と自然科学にまたがる分野横断型のカリキュラム科目を履修する事で、自然と社会を総合的に理解できるようカリキュラムを工夫している。					
副専攻の学習成果					
学生の実践性を育成するため、地域というフィールドを意識した基礎的な演習・実習を履修する事で、自然と社会を含めた幅広い知識を取得できる。その上で、地域の課題を発見し、分析し、様々な問題に対する解決策を提案する基礎的な実践力を習得できる。					
副専攻を構成する科目					
科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期
15016	環境共生論Ⅰ	日本や世界の自然環境や環境資源の基礎論を理解し、環境を取りまく諸問題やそれに対応する社会動向を理解する。	1		1
15017	環境共生論Ⅱ		1		1
35600	自然環境の再生とその動向Ⅰ	日常的な生活が環境とどう関係しているか理解し、様々な環境再生の方法を学ぶ。	2	1	
35601	自然環境の再生とその動向Ⅱ		2	1	
35604	環境行政と関係法令Ⅰ	環境問題と環境政策の歴史の概略を理解し、今後の環境政策のあり方を考える。	2		1
35605	環境行政と関係法令Ⅱ		2		1
35634	環境経済論Ⅰ	自然資本と人工資本の関係を理解し、エコロジー経済学を学び、共進化の観点から環境問題を理解する。	2~4	1	
35635	環境経済論Ⅱ		2~4	1	
35636	農業経済論Ⅰ	戦後日本の農業農村の概史から農業産業としての農業が抱える様々な課題に関する理解を深める。	2~4	1	
35937	農業経済論Ⅱ		2~4	1	
35606	自然環境と社会Ⅰ	自然環境に対する人間社会の影響と、人間社会に対する自然環境の影響のそれぞれについて、基礎的な知識を習得する。	2		1
35607	自然環境と社会Ⅱ		2		1
35624	自然環境基礎論Ⅰ	日本と世界の自然環境・自然地理に関する基礎的な知識を取得する。	1	1	
35625	自然環境基礎論Ⅱ		1	1	
35602	環境学習・市民活動Ⅰ	環境再生医の資格取得に必要な環境学習・市民活動に関する基礎的な知識を習得する。	2	1	
35603	環境学習・市民活動Ⅱ		2	1	
35632	環境教育論Ⅰ	技術教育分野で子供に何を学ばせるかについて、理論と実践を行う。	2		1
35633	環境教育論Ⅱ		2		1

副専攻名 環境共生論[基礎]					
副専攻のCP(カリキュラム編成方針)					
環境共生の実現に貢献できる人材を「育成する基礎的なカリキュラムを準備している。人文社会と自然科学にまたがる分野横断型のカリキュラム科目を履修する事で、自然と社会を総合的に理解できるようカリキュラムを工夫している。					
副専攻の学習成果					
学生の実践性を育成するため、地域というフィールドを意識した基礎的な演習・実習を履修する事で、自然と社会を含めた幅広い知識を取得できる。その上で、地域の課題を発見し、分析し、様々な問題に対する解決策を提案する基礎的な実践力を習得できる。					
副専攻を構成する科目					
科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期
35682	資源運用・循環論	「環境共生」への理解や意識を深めるにあたり、特に水産業、食料供給に関わる活動や問題を具体的事例として示しながら資源の捉え方やその利用と課題、人とのかかわりなどを取扱うことを通じて、地域資源の活用や食料供給、流通構造、循環型社会形成の概観を理解する。あわせて、地理学的な見方・手法を用いた課題考察について学び、今後の学習の基礎を習得する。	2	2	
35685	流通・消費論	様々な地域に存在する多様な資源が、複雑な・多岐に渡る地域や関係者、システムを通して流通・普及する様子に注目し、需要者に消費されるまでの過程や構造と、そこで取り組まれている工夫や残されている課題について考察することができるようになる。地理学的な研究に注目することで、「地域」を見つめる大切さへの意識を高め、研究の視点や手法についても理解を深めることで、将来各自が行う卒業論文での地域調査に必要なスキルの習得の足がかりとする。	2	2	